

令和3年度

指定介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】

法人名称	社会福祉法人聖ヨハネ会
事業所名称	桜町聖ヨハネホーム
事業所所在地	東京都小金井市桜町1丁目2番24号
事業所電話番号	042-381-1234

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	1) カトリックの精神に基づき、人格を尊重した福祉の実践 2) 人生の完成期（終末期）をここで迎えるご利用者に「大切にされていると思えるケア」の実践 3) 健全経営を目指した経営改革の推進 4) 地域包括ケアにおけるヨハネ会医療と介護の連携強化 5) 安心と安全の提供

全体の評価講評

特に良いと思う点

- 「永遠の生命を有する人間性を尊重し」その人らしさを追求した、思いに寄り添う終末期ケアの実践により利用者・家族を最期まで支えている**
 看取り介護では、ドクターの指示書に基づき多職種が連携して苦痛緩和や精神的ケアを実施しているが、「永遠の生命を有する人間性を尊重し」その人らしさを追求したケアの実践により、利用者・家族を最期まで支えている。前年度亡くなった利用者29名のうち26名が看取り介護となったが、その一人ひとりの声なき声に耳を傾け、ドクターも交えた面談を何度でも実施し、旅立ちの日まで思いに寄り添い支援している。コロナ禍においては、窓越し面会の実施等で家族との時間を大切にし、お見送りの際には職員が、密を避けて聖歌で最期のお別れをしている。
- 栄養ケア計画による量・形態など個別対応による食を味わい楽しむことで利用者の入所から終末期までの生活への意欲向上に取り組んでいる**
 入所から終末期まで心身や機能に対応した食事を提供している。利用者ごとの栄養状態・嚥下機能・既往症・アレルギー・認知機能・嗜好・介助など状況を把握し作成した「栄養ケア計画」に沿って健康維持に努めている。毎月測定の体重変化から低栄養リスクを見極め、多職種で構成する会議では個別に必要なエネルギー・水分量や食形態を検討する。摂食機能が低下した場合は「経口移行・経口維持計画」を作成し維持・改善を図る。利用者懇談会では嗜好を聞き取り、行事食や選択食、麺類など献立に反映し食を楽しむことから生活への意欲向上に取り組んでいる。
- 利用者の心身の活性化に向け、日常生活の中で無理なく実施可能な訓練メニューを多職種が「リハビリ会議」で検討し、連携して支援している**
 リハビリは専門職のみが実施するのではなく、機能訓練指導員・ケアマネジャー・看護師・介護職員・音楽セラピスト等が「リハビリ会議」を毎月開催し、利用者が無理なく実行可能な訓練メニューを検討して、日常生活の中に採り入れている。食事の際の座位保持、移動の際の歩行の見守り、排泄介助の際の立位保持や屈伸による関節可動域訓練など、場面ごとの担当者が利用者の保有する力に合わせて動きを促している。また、楽しみながら自然にリハビリ効果が得られるよう、音楽セラピーやレクリエーションセラピーなども、多職種が連携して実施している。

さらなる改善が望まれる点

- **職員の労働意欲や向上意欲を高めて組織を活性化させるために人事考課制度の導入の検討が期待される**

福祉サービスに業務評価が馴染まないという考え方もあり、事業所は現在まで人事考課制度の導入には至っていない。業務評価による賃金格差が生じない年功序列方式は良い面だけでなく平均年齢が高い偏りのある人材構成となっている。法人の高齢者福祉部門の「組織規程」に示す職責別職務に基づくキャリア制度は職員に伝わっておらず、職員の労働意欲や向上意欲を高めて組織を活性化させる為にも人事考課制度の導入の検討が期待される。

- **マニュアルの整備および職員研修や会議、委員会やチーム活動など事業所の現存の環境を生かし職員のやりがいを高めることが期待される**

事業所は業務ごとの目標と手順を示したマニュアルを整備しそれをテキストとしたOJTによる新人育成に取り組んでいる。しかし、待遇マナーや介護技術の職員格差およびリーダーや管理職の育成不足などが自己評価の意見として少なくない。事業所には職員研修や会議、委員会やチーム活動など職員が能力を発揮して人材が育つ仕組みは備わっている。現存の環境を生かし職員がもれなく業務姿勢を正しやりがいを高めることが期待される。

- **各種福祉用具は役割分担により整備しているが、リスク管理の観点からも利用者の生活をトータルに支える視点でのメンテナンスが期待される**

利用者の生活を支えている車椅子・歩行器やベッド・手すり等の各種福祉用具は、不具合があれば担当の職員が修理・交換を行い、また、日常的な清掃は生活サポート担当職員が請け負って安心・安全な暮らしの提供を図っている。こうした役割分担は従前より定着しており、介護職員は主に身体介護を担っているが、事業所としては、生活援助も含めて介護職員がトータルで利用者を支えることを重視しており、体制づくりが課題となっている。利用者の重度化により時間の確保が困難ではあるが、リスク管理の観点からも一体的なメンテナンスが望まれる。

事業者が特に力を入れている取り組み

- ★ **赤字体質から脱却するために、収入の安定化、支出削減に取り組んでいる**

当事業所は事業収支の赤字が継続しており、一時よりは赤字幅が減少したとはいえ2020年度も事業収支は△2856万円の結果となった。収入面では、利用率の安定化を目指して空床ベッドの削減に取り組んできた。定員の3割にもなる利用者のご逝去による退所、コロナ禍によるショートステイ利用の低下などで収入は目標を下回った。また、支出面では人材紹介料などの人件費、水道光熱費、事務経費などの経費削減に努めた。しかし、抜本的解決の為には80%以上を占める人件費比率の低減が必要と認識して新施設長は改善にむけた施策に取り組んでいる。

- ★ **本人の意思を尊重して目標の「大切にされていると思われるケア」に取り組んでいる**

事業計画には当事業所の目標として「人生の完成に向かって歩まれているご利用者様に『大切にされていると思われるケア』を実践する」と掲げている。利用者ごとの介護ケース記録にはかかわった多職種の職員が実施した支援と状況を記入している。その利用者にかかわる職員は介護ケース記録から状態や様子を事前に確認して業務を開始している。施設サービス計画書のサービス内容欄には、「本人の意思や気持ちを確認しながら目的を伝え同意を得た上で本人のペースに合わせてゆっくりと介助を行う」などと記し利用者の意思を尊重した支援を実践している。

- ★ **新型コロナウイルス感染症の対応マニュアルを整えて支援を適切に行う体制を備えている**

新型コロナウイルス感染拡大に伴い事業所は早急に対応マニュアルを作成し、感染予防・発症時に必要な支援を適切に行えるよう定めている。利用者や職員の手指と備品の消毒を徹底し密にならない距離や動線の確保、換気の励行により安全に過ごせる環境整備を示している。利用者の体調は毎朝の検温および観察や声かけにて心身状況もチェックし、変化があれば再度の検温により受診の要否を判断する。発症の疑いがあれば隔離対応と施設内のゾーン分けの上、保健所につなぎ感染リスクを最小限に抑えることと関係連絡先・衛生材料一覧・役割分担を備えている。

利用者調査結果

調査概要

- **調査対象**：調査は利用者全員を対象とし、聞き取り可能な利用者17人に実施した。
- **調査方法**：聞き取り方式
聞き取り方式による調査にあたり、共用部に席を設け、マスク着用にて、換気およびパーティションを設置した環境で、趣旨を説明して本人の了解を得た上で、一対一での聞き取りを行った。
- 利用者総数：101人
- 共通評価項目による調査対象者数：17人
- 共通評価項目による調査の有効回答者数：17人
- 利用者総数に対する回答者割合（%）：16.8%
- 調査項目：[共通評価項目](#)

1. 食事の献立や食事介助など食事に満足しているか	はい 71%	どちらともいえない 12%	いいえ 18%	
2. 日常生活に必要な介助を受けているか	はい 76%	どちらともいえない 18%		
□いいえ：6% □無回答・非該当：0%				
3. 施設の生活はくつろげるか	はい 65%	どちらともいえない 29%		
□いいえ：6% □無回答・非該当：0%				
4. 職員は日常的に、健康状態を気にかけているか	はい 71%	どちらともいえない 12%	いいえ 18%	
5. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	はい 94%			
□どちらともいえない：6% □いいえ：0% □無回答・非該当：0%				
6. 職員の接遇・態度は適切か	はい 76%	どちらともいえない 12%	いいえ 12%	
7. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	はい 82%	どちらともいえない 12%		
□いいえ：6% □無回答・非該当：0%				
8. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	はい 82%			
□どちらともいえない：6% □いいえ：6% □無回答・非該当：6%				
9. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	はい 65%	どちらともいえない 18%	いいえ 12%	
□無回答・非該当：6%				
10. 利用者のプライバシーは守られているか	はい 82%			
□どちらともいえない：6% □いいえ：6% □無回答・非該当：6%				
11. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	はい 12%	どちらともいえない 53%	いいえ 29%	
□無回答・非該当：6%				
12. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	はい 18%	どちらともいえない 29%	いいえ 12%	無回答・非該当 41%
13. 利用者の不満や要望は対応されているか	はい 59%	どちらともいえない 18%	いいえ 18%	
□無回答・非該当：6%				
14. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	はい 24%		いいえ 59%	無回答・非該当 12%
□どちらともいえない：6%				